

➤ 25日 火曜

列王Ⅱ

4:1 預言者の仲間の妻の一人がエリシャに叫んで言った。「あなたのしもべである私の夫が死にました。ご存じのように、あなたのしもべは【主】を恐れていました。ところが、債権者が来て、私の二人の子どもを自分の奴隷にしようとしています。」

4:2 エリシャは彼女に言った。「何をしてあげようか。私に話しなさい。あなたには、家の中に何かあるのか。」彼女は答えた。「はしためには、家の中に何もありません。ただ、油の壺一つしかありません。」

4:3 すると、彼は言った。「外に行って、近所の皆から、器を借りて来なさい。空の器を。それも、一つや二つではいけません。」

4:4 家に入ったら、あなたと子どもたちの背後の戸を閉めなさい。そしてすべての器に油を注ぎ入れなさい。いっぱいになったものは、わきに置きなさい。」

4:5 そこで、彼女は彼のもとから去って行き、彼女と子どもたちが入った背後の戸を閉めた。そして、子どもたちが次々と自分のところに持って来る器に油を注ぎ入れた。

4:6 器がどれもいっぱいになったので、彼女は子どもの一人に言った。「もっと器を持って来なさい。」その子どもが彼女に、「もう器はありません」と言うと、油は止まった。

4:7 彼女が神の人に知らせに行くと、彼は言った。「行ってその油を売り、あなたの負債を払いなさい。その残りで、あなたと子どもたちは暮らしていけます。」

かつてエリヤが貧しいやもめの家庭で油を満たすという奇跡を行ないました。（その力は神からですが）その証はエリシャにも伝えられたのでしょうか。



彼の確信につながったと思われます。主のみわざは分かち合わなければなりません。教会でも恵を分かち合いましょう。

たくさんの器を用意するのは、主への信仰の表れです。そこは私たち人間が備えなくてはなりません。

戸を閉じるのは、主への一対一の信仰を明かにするためです。人が見ていなくても主に従う者の信仰は本ものです。

器がなくなると油も止まりました。器は信仰の大きさの表れですから、私たちは大きな信仰を持って、恵を受け取る用意をしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

